

科目名	疾病・臨床病態概論
担当指導者	河田光博
時間	41 (厚生労働省の規定時間：40時間)
学習概要	<p>主要疾患と臨床診断・治療を学ぶ</p> <p>主要疾患の病態と臨床診断・治療の概論</p> <p>循環器系/呼吸器系/消化器系/腎泌尿器系/内分泌・代謝系/免疫・膠原病系/血液・リンパ系/神経系/小児科/産婦人科/精神系/運動器系/感覚器系/感染症/その他状況に応じた臨床診断・治療を学ぶ</p> <p>1. 救急医療の臨床診断・治療の特性と演習</p> <p>2. 在宅医療の臨床診断・治療の特性と演習</p>
到達目標	<p>①主要疾患の病態生理、臨床像、診断、治療を理解する</p> <p>②年齢（小児、高齢者など）や状況（救急医療、在宅医療など）に応じた臨床診断・治療の特性を理解する</p> <p>③多様な臨床場面において重要な病態の変化や疾患を包括的にいち早くアセスメントし、必要な治療を理解してケアを導くための基本的な能力を身につける</p>
研修方法/ 評価方法	<p>講義（放送授業・面接授業）：e-ラーニングの受講/確認テスト、添削指導</p> <p>演習（面接授業）：ペーパーシミュレーションによるディスカッション・レポート提出/観察評価</p> <p>試験（筆記試験）：科目修了試験の実施（教室に集まりPC端末もしくは試験用紙を用いて行う）</p>
備考	講義時間は、動画再生時間、動画中の課題の時間、確認テスト（テスト受講、採点、解答確認）の時間を含まず。自学の時間は含まれません

学習内容	タイトル	講義	演習	評価
主要疾患と臨床診断・治療を学ぶ				
主要疾患の病態と臨床診断・治療の概論				
①循環器系	虚血性心疾患	0.5		
	心臓弁膜症～大動脈弁狭窄症・僧帽弁逆流症～	0.5		
	不整脈	0.5		
	高血圧	0.5		
	急性心不全	0.5		
②呼吸器系	気管支喘息・COPD	0.75		
	肺炎	1		
	酸素療法、人工呼吸療法、人工気道	0.75		
	肺がん、胸膜・縦隔疾患	0.5		
	気胸	0.5		
③消化器系	イレウス	1		
	黄疸	1		
	吐血・嘔吐	0.75		
	肝疾患	0.75		
	肝性脳症・肝性昏睡	0.5		
	急性膵炎	0.5		
④腎・泌尿器系	急性腎障害（AKI）	0.75		
	慢性腎臓病（CKD）	1		
⑤内分泌・代謝系	糖尿病	1		
	カリウム異常	0.5		
	低Na血症、高Na血症	0.5		
	高カルシウム血症のアプローチ	0.5		
	下垂体-甲状腺-副腎	0.75		
⑥免疫・膠原病系	関節痛	1		
	関節リウマチ	0.5		
⑦血液・リンパ系	貧血の初期評価	0.5		
	悪性リンパ腫、急性白血病	0.5		

学習内容	タイトル		講義	演習	評価
⑩神経系	脳梗塞		0.5		
	脳出血（脳内出血、くも膜下出血、硬膜下出血）		0.5		
⑩小児科	小児一般疾患概論		1		
⑩産婦人科	産科疾患		0.5		
	婦人科疾患		1		
⑪精神系	認知症		0.5		
	気分障害（うつ病、双極性障害）		1		
	せん妄		0.75		
	統合失調症		0.5		
⑫運動器系	運動器疾患～足・膝靭帯損傷、肩関節脱臼、変形性関節症、坐骨神経痛、骨粗鬆症に伴う圧迫骨折、大腿骨頸部骨折～		1		
	腰痛		0.5		
⑬感覚器系	耳鼻科外傷		0.75		
	眼科疾患1～眼の解剖と前眼部疾患～		0.75		
	眼科疾患2～後眼部疾患～		0.75		
⑭感染症	胆管炎・腹腔内感染症		0.5		
⑮その他	悪性腫瘍総論		1		
	頭痛		0.5		
『主要疾患の病態と臨床診断・治療を学ぶ』の合計時間			30	0	0

学習内容	タイトル	講師	所属	講義	演習	評価
状況に応じた臨床診断・治療を学ぶ						
1. 救急医療の臨床診断・治療の特性と演習						
⑯救急医療	頭部外傷			0.5		
	頸部外傷			0.5		
	胸部外傷			0.5		
	Refeeding症候群			1		
	中毒			0.5		
	薬物中毒			0.5		
	偶発性低体温症			0.5		
	熱中症			0.5		
	熱傷			0.5		
【演習1】 ※⑯視聴後	熱中症				1	
2. 在宅医療の臨床診断・治療の特性と演習						
⑰在宅医療	看取り			1		
	褥瘡管理			1		
【演習2】 ※⑰視聴後	看取り				1	
	褥瘡管理				1	
『状況に応じた臨床診断・治療を学ぶ』の合計時間				7	3	0
まとめ						
	科目修了試験†					1
†：「主要疾患の病態と臨床診断・治療の概論」45分、「状況に応じた臨床診断・治療を学ぶ」15分				37	3	1